



2015年1月5日
セブン&アイ・ホールディングス
代表取締役会長 兼 最高経営責任者(CEO)
鈴木敏文

2015年 年頭ごあいさつ

明けましておめでとうございます。今年は、私たちをとりまく経済環境もやや明るさが見えてくるのではと期待しています。

本年はセブン&アイ・ホールディングス発足 10 周年を迎えます。この間のグループ各社の状況を見ますと、売り手市場の時代に成功した会社ほど、苦戦してきたと言えます。この 10 年間、お客様はご自分の好みに合った商品以外は決してお買い求めにならないという、買い手市場の傾向がいつそう強まりました。その環境変化に対応できなかった会社ほど、苦戦を強いられてきたのです。

今年、私たちセブン&アイグループは、チェーンストアのあり方を全面的に見直します。従来チェーンストアの多くは、本部(商品部)がお取引先から提案された商品を仕入れ、各店舗に供給していくという方法をとってきました。しかし、買い手市場の時代、お客様や地域のニーズにきめ細かく対応するためには、店舗が主導権をもって品揃えしていく必要があります。

セブン-イレブンが、これまで成長し続けてきたのは、店舗からの発注を基本に据えた運営を徹底してきた結果です。イトーヨーカドーでは、品揃えや人員配置などを全面的に店舗に任せる独立運営の実験を進めており、今年後半には、全店に拡大していきたいと考えています。

これは、従来のチェーンストアの在り方を一変させる、そうとう大きな改革になります。本部(商品部)は商品開発に専念し、各店舗がリーダーシップをもって推奨商品の中から、自店で販売する商品を決定するようになっていきます。そのために、商品部では大幅な組織変更を実施し、外部からも積極的に専門家を登用してMD力の強化を図ります。そして、店舗では店長、担当マネジャーの責任の下、自らの商圈に合わせて自店の売場を変えていってまいります。そのために、パートさんなど地域の生活に精通した社員を中心に、店舗の人材強化も進めていきます。

また、人事評価においても、結果を出した人をしっかりと処遇していくという方針を徹底していきます。これによって、働いている皆さんにとって、真にやりがいのある会社にしていきたいと考えています。

これが、本年の私たちグループの大きな方針です。皆さんとともに、改革を力強く前進させてまいりたいと思います。

(2015年1月4日 新年初朝礼あいさつ要旨)

以上